

記載例：有害物質貯蔵指定施設の設置
(全ての工場・事業場用)

様式第1 (第3条関係) (表面)

該当する部分以外は二重線で消す。

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

実際に届出書を提出する年月日を記載

年 月 日

尼崎市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

~~〒〇〇〇-〇〇〇〇~~

~~〇〇市〇〇町〇-〇-〇~~

届出者 ~~〇〇株式会社~~

代表取締役 〇〇 〇〇

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。
工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付

【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

~~水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。~~

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〒〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-1-1	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無		※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考 有害物質貯蔵指定施設を設置等しようとする工場・事業場の名称、住所を記載	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の有無			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	【設置届出の場合】 別紙(申請事項内容及び12~15)について記載 【変更届出の場合】 変更した部分については、二段書きとし変更前は上段に赤字で記載する。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

届出事項内容

(第5条第3項、~~第6条第1項~~又は第7条関係)

事業場名 ○○株式会社△△事業部

担当者職氏名 ○○課 □□□□

(電話) ○○-○○○○-○○○○

届出概要及び理由

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。

(工場事例)

- ・ 当社の△△事業所では汎用エンジン部品工場を設置しており、電気めっき施設用にクロムめっき液(原材料)保管のための貯蔵用タンク(○リットル)を1基設置します(当社の施設管理番号C-1)。このタンク1基が有害物質貯蔵指定施設に該当します。
- ・ また、電気めっき施設から発生する廃液は六価クロムを含むため、産業廃棄物として委託処理を行います。この廃液の保管のためのタンク(○リットル)を1基設置します(当社の施設管理番号W-1)。このタンク1基が有害物質貯蔵指定施設に該当します。
- ・ 以上のため、有害物質貯蔵指定施設の設置届を提出します。

既設届出の記載事項から変更等がある別紙については有に、変更等がない別紙については無に○印をつける。

既届出記載事項の変更等の状況		別紙の添付状況
有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙12
有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙13
有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の使用の方法	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙14
用水及び排水の系統(搬入及び搬出の系統)	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙15

添付図面内訳		添付の状況
工場付近見取図(主要河川等への放流経路等を含む)	別紙15関係	別図1
工場内の配置図(主要な施設の配置図を含む)	別紙14関係	別図2
有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造図(施設に関連する主要機械・主要装置、設備の配置図を含む)	別紙12、13関係	別図3-1~3-4 別図4-1~4-4
施設の操業系統図(フローシート)	別紙14関係	別図5

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

施設の工場・事業場内の番号、名称を記載		
工場又は事業場における施設番号	C-1	W-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
型 式	〇〇社製A13型	××社製W15型
メーカー名、機種名を記載		
構 造	タンク材質：FRP製 (構造図：別図3-1のとおり)	タンク材質：鋼板製+塩ビライニング (構造図：別図3-2のとおり)
施設の構造材料、材質を記載し、構造図を添付		
主 要 寸 法	L H W 〇mm×〇mm×〇mm (構造図：別図3-1のとおり)	L H W 〇mm×〇mm×〇mm (構造図：別図3-2のとおり)
施設の寸法を記載し、構造図を添付		
能 力	クロムめっき液 〇L	クロムめっき液 〇L
施設の最大貯蔵量を記載		施設が設置されている建物の名称や位置等を記載し 施設の配置が判る図面を添付
配 置	1号棟南設置 (別図2のとおり)	1号棟1階設置 (別図2のとおり)
床 面 及 び 周 圍	床面：コンクリート+樹脂コーティング 周囲：防液堤(〇L)	床面：コンクリート+樹脂コーティング 周囲：側溝、ためます
床面は材質、被覆の有無等について記載 周囲は防液堤、受け皿等について記載		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	着手後3月	着手後3月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	C-1	W-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設備 施設に付帯する配管、ポンプ、排水溝、ためます等の設備名及び数量を記載	地下配管×4本 フランジ(C系列)×8個 ポンプ(C系列)×2個 検知設備：電気伝導率計(〇〇製) 防液提	ポンプ(W系列) 側溝 ためます 配管
構造 設備欄に記載した設備の材質を記載。検知設備を有する場合も記載、構造図面を添付	地下配管：塩化ビニル製 フランジ：塩化ビニル製 ポンプ：鋼製+樹脂コーティング 検知設備：電極、検知器、記録計等 防液提：コンクリート+樹脂コーティング (構造図：別図4-1のとおり)	ポンプ：鋼製+樹脂コーティング 側溝、ためます：コンクリート+樹脂コーティング 地下配管：塩化ビニル 地上配管：塩化ビニル (構造図：別図4-3のとおり)
主要寸法 設備のうち、主なものについて寸法を記載	地下配管：φ〇×延べL〇mm ポンプ：L〇×W〇×H〇mm 検知設備：L〇×W〇mm 防液提：L〇×W〇×H〇mm (別図4-2のとおり)	ポンプ：L〇×W〇×H〇mm 側溝：L〇×W〇×H〇mm ためます：L〇×W〇×H〇mm 地下配管：L〇×W〇×H〇mm 地上配管：L〇×W〇×H〇mm (別図4-4のとおり)
配置 設備が設置されている建物の名称や位置等を記載、設備位置が判る図面を添付	1号棟南設置 (別図2のとおり)	1号棟1階設置 (別図2のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	着手後3月	着手後3月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

工場又は事業場における施設番号	C-1	W-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設置場所	1号棟南設置 (別図2のとおり)	1号棟1階設置 (別図2のとおり)
操業の系統	原材料の受入れ (別図5のとおり)	廃液の貯蔵 (別図5のとおり)
使用時間間隔	1ヵ月に1回 (8:00~10:00)	9:00~17:00
1日当たりの使用時間	2時間	9時間
使用の季節的変動	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	貯蔵する有害物質の種類を記載	
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	六価クロム化合物	六価クロム化合物
その他参考となるべき事項	クロムめっき液として自動車部品製造ラインで使用。月1回新規供給	自動車部品製造ラインからの廃液。産業廃棄物として委託処分

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。

搬入業者がトラックで原材料※を1回/月の頻度で搬入
薬品倉庫で保管
↓ ※原材料：苛性ソーダ、濃硫酸、無水クロム酸(粉体)等
↓
↓ (台車で運搬)
↓

有害物質貯蔵指定施設

(タンク C-1 に手作業で各種原材料を投入し、めっき液を作液後、貯蔵
床面はコンクリート+樹脂コーティング、防液堤設置)

↓
↓
↓ (ポンプ)
↓ (地下配管：塩化ビニル製)
↓
↓

有害物質使用特定施設

↓
↓ (ポンプ)
↓ (地下配管：塩化ビニル製)
↓

有害物質貯蔵指定施設

(タンク W-1 に廃液を貯蔵
床面はコンクリート+樹脂コーティング、側溝、ためます設置)

↓
↓
↓ 引き抜き

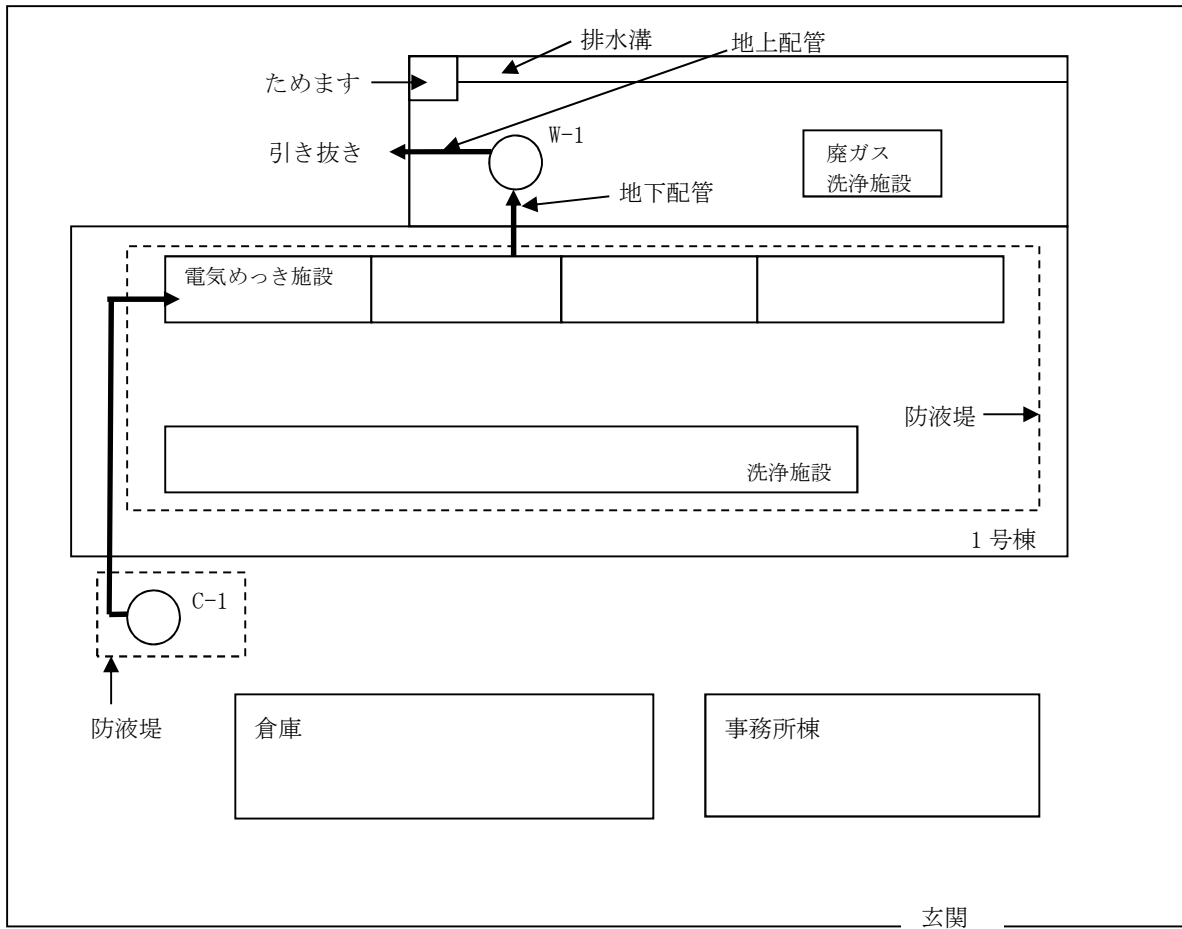
産廃業者へ処理委託(タンクローリーで引き抜き)

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）

	用	途	使	用	水	用水使用量(m ³ /日)
用途別用水使用量	/					
	/					
	/					
	/					

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

別図〇



〇〇株式会社△△事業所 平面図

この図面は、別紙12、別紙13、別紙14の添付図面の例です。
既存の図面に、必要箇所を追記したものでも構いません。